



自衛隊栃木地方協力本部

第5回あったか交流会（日光市塩野室地区） ～地域の福祉活動に協力～

自衛隊栃木地方協力本部宇都宮募集案内所（所長 大橋2陸尉）は、11月5日（日）日光市塩野室地区社会福祉協議会が主催する「第5回あったか交流会」において募集相談員（繪面幹雄 氏）の支援を受け広報展を実施した。

「あったか交流会」は、世代を超えた住民同士の交流や地域の活性化と地域福祉への理解と参加の促進を目的として開始されたもので、今回の開催はコロナ禍明けの実に4年ぶりの開催となった。

当日は、あいにくの天気であったが近隣の小学校及び中学校のクラブバンド部によるオーブニングセレモニーが始まると、小・中学生や家族連れを中心に大きな賑わいを見せた。なかでも73式小型トラックの車両展示コーナーでは、自衛隊各種制服・迷彩服を試着した来場者が思い思いのポーズを取りながら展示車両の内外で写真撮影を楽しんでいた。

宇都宮募集案内所は、「今後も、各関係協力団体や募集相談員と協力しながら、あらゆる機会を積極的に活用し、自衛隊の活動について理解を深めてもらうとともに、地域と一体となった募集広報活動を事務所員一丸となり推進していく」としている。



展示車両コーナーでの決めポーズ

今市ロータリークラブ本部長講話

自衛隊栃木地方協力本部宇都宮募集案内所（所長 大橋2陸尉）は、11月8日（水）日光東照宮晃陽苑（日光市）において国際ロータリークラブ第2550地区今市ロータリークラブが主催する本部長講話「我が国の防衛について」の支援を行った。

ロータリークラブは、様々な職業やスキルをもつ人及び市民のリーダーが「世界を変える行動人」となり、その経験や知識を生かし社会奉仕や人道的活動に取り組むことを使命とする等、多角的アプローチや倫理を大切に独自の活動を行っており、今回の講話は、自衛隊募集相談員兼家族会会員の東四郎 氏の紹介を受けての講話となった。

例年には約20名が参加し、国歌斉唱後、ロータリークラブの拡大と親睦を内容としたロータリーソングが歌われたのち、同ロータリークラブ会長（中村 清隆 氏）の挨拶や募集相談員の大橋 東四郎 氏による自衛官募集の現状説明と募集への協力依頼が行われ、その後、本部長による講話が行われた。講話では、昨年度末に制定された「国家安全保障戦略」「国家防衛戦略」「防衛力整備計画」の概要や自衛隊の取組について説明し、聴講された会員の方々は、「口頃接することの出来ない分野の話であり、有意義な時間を共有できた」と自衛隊に対する理解を深めていた。

宇都宮募集案内所は、「今後も、各関係協力団体や募集相談員等と協力しながら、あらゆる機会を積極的に活用し、自衛隊の活動について理解を深めてもらうとともに、地域と一体となった募集広報活動を事務所員一丸となり推進していく」としている。



本部長による講話



本部長、会長及び大橋氏による会談風景